

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 3月 28日
研究・研修課題名	感染制御認定薬剤師の新規資格取得に係る必須研修会への参加
研究・研修組織名(所属)	薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	池淵 明美伽(薬剤部)
研究・研修実施者名(所属)	池淵 明美伽、亀井 美穂、高橋 由(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	池淵 明美伽、亀井 美穂、高橋 由(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	令和3年度感染制御専門薬剤師講習会【web開催】 令和3年7月3日、10月16日、令和4年2月19日
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

院内における感染対策は、患者や医療従事者等における感染リスクを最小限にし、治療の安全性を高める極めて重要な責務である。当院においても、薬剤師を含む多職種での感染対策チーム(ICT)を組織して取り組みを行い、「感染防止対策加算1」や「感染防止対策地域連携加算」を算定している。加えて近年では、薬剤耐性菌への対策が世界的に求められており、平成30年度には「抗菌薬適正使用支援加算」が新設されたことから、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)での活動を開始して、同加算の算定も行っている。一方、それらの加算の施設基準では、ICTやASTの構成員として、それぞれに専任あるいは専従の薬剤師が必要であり、ASTでは「3年以上の病院勤務経験を持つ感染症診療にかかわる薬剤師」とされている。すなわち、薬剤師においても、感染制御や感染症診療に関する高度な知識や技能、実践能力を習得し、院内における感染対策や感染症診療に貢献することが強く求められている。また、診療体制や医療の質を担保するためには、多くの薬剤師がそれらの専門性を高める必要がある。

感染制御専門薬剤師講習会の受講は、感染制御認定薬剤師の認定取得に必須の要件であり、感染制御の専門性向上や認定取得を目指すことにより、当院における感染対策に貢献することを目的とした。

②方法

令和3年度感染制御専門薬剤師講習会は下記の日程で実施された。本講習会に薬剤師3名(池淵明美伽、亀井美穂、高橋由)が参加し集中講座を受講した。参加した薬剤師は薬剤部内で研修内容を報告することにより、他の薬剤師と情報共有した。

主催 : 一般社団法人 日本病院薬剤師会

期間 : 令和3年7月3日(土)、令和3年10月16日(土)、令和4年2月19日(土)

③成果

本講習会へ参加することにより感染制御認定薬剤師の申請のための単位が得られ、新規申請するために必要な単位数の一部を取得できた。本講習会では、2022年に改訂された「抗菌薬TDM臨床実践ガイドライン2022」に関する内容も含まれており、日常業務の一つである抗MRSA薬の血中濃度解析に関する最新の知見を得ることができ、個々の症例への還元することができるようになった。必須研修会の受講により、感染制御認定薬剤師の新規取得に係る人材育成を実施したことは、当院における感染対策の向上に寄与するものである。